外部集中端子板検査器

データラインテスター

株式会社アシストプランナー

＝ 本機の特徴 ＝

- 外部集中端子板のみを検査する場合、投入500枚、払出500枚（合計1000枚）に相当する作業を約40秒で行います。（0.04秒/回で検査した場合）
- 本機と外部集中端子板を接続してホールコンピューターまで信号を送る事により、情報線全ての検査が一度に可能です。
- 検査回数や検査速度を任意で変更できるため、ホール様に合った内容で検査を行う事ができます。
- 擬似的にボーナス信号を出力する事でボーナス中と同じ状態を再現し、投入や払出の検査が可能です。
- 検査完了をブザーでお知らせします。

製造元　株式会社アシストプランナー　福岡県福岡市博多区東比恵 3 丁目 26-4
tel092-452-8711 fax092-452-8722　スマイル東比恵ビル 4 階

【必ずお読み下さい】

外部集中端子板検査器　データラインテスター（ＤＬ－１）　使用上の注意

データラインテスター（以下本機）を使用するにあたり、下記の事項についてご理解頂き、ご使用をお願いします。

① 本機は、外部集中端子板（もしくは呼出ランプ及びホールコンピューター）に疑似データ信号を送ることにより、リレー接点やその関連する基板などを検査する機器です。
② 本仕様書をよく読んで頂いた上でのご使用をお願いします。
③ 本来の用途以外に使用しないでください。本来の用途以外にご使用された場合、想定外の故障や事故等が発生する恐れがあります。
④ 本機は全ての外部集中端子板に対応出来るとは限りません。また、今後新しい外部集中端子板に対応する為、本体のバージョンアップ（有償）または部材の購入が必要になる場合があります。
⑤ 本機の判定結果について、設定された検査内容によっては正しい判定結果にならない場合があります。また、必ずしも全ての不良を判定出来るとは限りません。
⑥ 本機を用いて外部集中端子板からホールコンピューターまでの検査を行う際、検査内容によって過度のデータ計上が行われます。検査前に、お使いのホールコンピューターや呼出ランプメーカー様に検査内容を伝えて頂き、使用に問題が無いかご確認ください。
⑦ 本機の改造、または付属品以外の配線は使用しないでください。本機や外部集中端子板等が故障または破損する恐れがあります。
⑧ 外部集中端子板の現行の仕様（2019 年 5 月時点）では、リレー接点が 12Ｖまたは 24Ｖで駆動します。検査時の電圧設定を間違えないようにご注意ください。
⑨ 本機を営業中に使用しないでください。
⑩ 本機を用いて検査を行う際は、必ず筐体の電源を切ってからご使用ください。
⑪ 本機をご使用されて発生したトラブルに関しては、当社は一切の責任を負いかねます。ご了承の上、ご使用ください。
⑫ **当社で動作検証済みの外部集中端子板【Ⅵ型、Ⅵ２型、Ⅵｂ２型、Ⅵ３型、Ⅵｂ３型、ユニバーサル型、京楽型、三洋型、Ⅶ型、Ⅶｂ型、平和・アムテックス型】以外には使用しないでください。動作検証を行っていない外部集中端子板につきましては、当社または販売店へお問い合わせください。**
（詳細については５Ｐ「6-1. 事前準備」項を参照）

本書の構成について

１．本機説明（概略）
２．製品セット内容
３．接続図
４．各部名称及び外形寸法
５．主な機能一覧
６．検査手順
６-１．事前準備（外部集中端子板を確認）
６-２．外部集中端子板のみを検査する場合
６-３．外部集中端子板からホールコンピューターまでのデータラインを検査する場合
７．検査モードの設定
８．外部集中端子板の信号出力について
９．設定方法
９-１．ユーザーモードの設定
９-２．検査速度の設定
９-３．ボーナスモードの設定
１０．故障かな？と思ったら
１１．データラインテスターハーネス一覧

１．本機説明（概略）

※「データラインテスター」は遊技台の情報を出力する外部集中端子板の動作確認及び外部集中端子板からホールコンピューターまでのデータラインの確認の為に使用します。

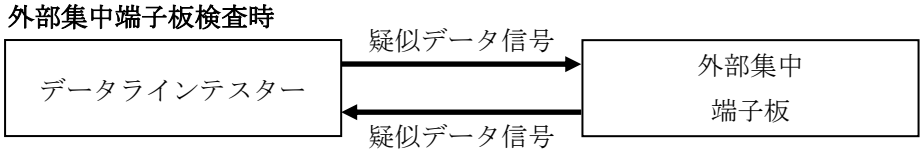
２．製品セット内容

・データラインテスター本体（1 台）
・標準検査出力ハーネス（1 本）
・京楽用検査出力ハーネス（1 本）
・三洋用検査出力ハーネス（1 本）
・Ⅶ型用検査出力ハーネス（1 本）
・検査入力ハーネス（1 本）
・単 3 アルカリ乾電池（4 本）

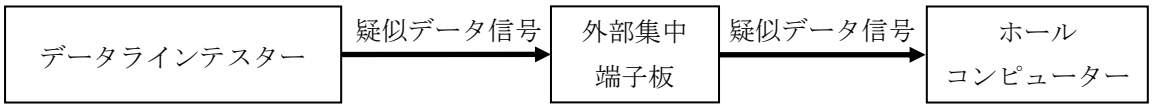
※平和用検査出力ハーネスは別売オプションの為、セットには付属しておりません。

３．接続図

外部集中端子板検査時

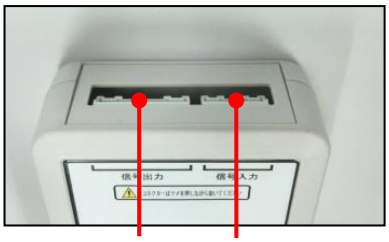


ホールコンピューター接続検査



４．各部名称及び外形寸法

本体（上部）

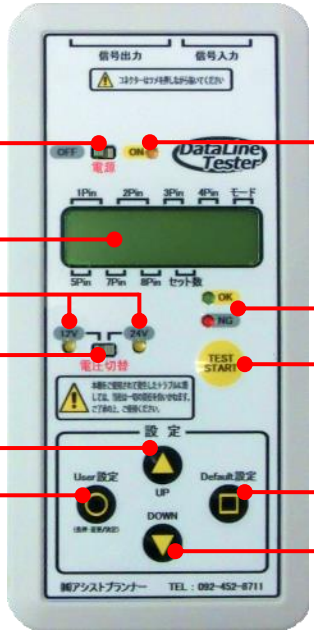


①検査信号出力コネクター　②検査信号入力コネクター

縦	165㎜
横	80㎜
奥行	35㎜

注）突起部は除きます

本体（前面）



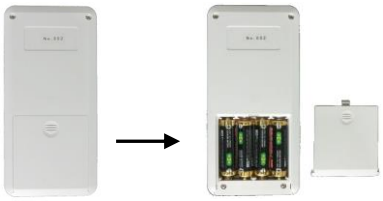
５．主な機能一覧

	項目	内容
①	検査信号出力コネクター	検査出力ハーネスを取付け、外部集中端子板の入力側と接続します。
②	検査信号入力コネクター	検査入力ハーネスを取付け、外部集中端子板の出力側と接続します。
③	主電源スイッチ	主電源のＯＮ、ＯＦＦ用スイッチです。
④	電源表示LED	電源の状態を表示します。 電源ＯＮ：「点灯」　電池交換警告：「点滅」
⑤	液晶表示部	検査内容や結果等を表示します。
⑥	電圧表示LED	現在設定されている擬似データ信号を出力する電圧の状態を表示します。
⑦	電圧切替スイッチ	外部集中端子板に出力する擬似データ信号の電圧を切替えます。 「１２Ｖ」：外部集中端子板に 12Ｖの疑似データ信号を出力します。 「２４Ｖ」：外部集中端子板に 24Ｖの疑似データ信号を出力します。
⑧	OK／NG表示LED	検査後、外部集中端子板が正常判定の場合にＯＫのＬＥＤが点灯します。 検査後、外部集中端子板が異常判定の場合にＮＧのＬＥＤが点灯します。
⑨	TEST START ボタン	ＴＥＳＴ　ＳＴＡＲＴボタンを押すことで設定した内容で検査を開始します。 検査中に長押しすると検査を中断します。検査が中断された場合、検査結果は表示されません。
⑩	UPボタン	主に設定値を変更するときに使用します。
⑪	User（ユーザー）設定ボタン	本機にユーザーが登録した設定（2 パターン）を表示します。
⑫	Default（デフォルト）設定ボタン	本機に登録されている設定（3 パターン）を表示します。
⑬	DOWNボタン	主に設定値を変更するときに使用します。

６．検査手順

６－１　事前準備（外部集中端子板を確認）

①　本体背面の電池カバーをスライドして開け、付属の単３アルカリ乾電池４本をセットします。



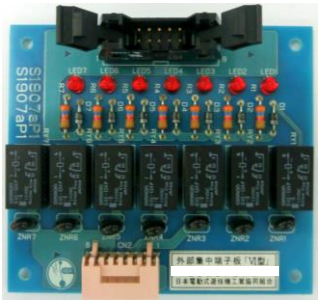
※本機を使用しない時は、電池を外して保管してください。
※電池交換は、必ず単３アルカリ乾電池を使用してください。

②　検査する外部集中端子板が当社の動作検証済みの型式であるかを確認します。

外部集中端子板の型式が「**Ⅵ型**」「**Ⅵ２型**」「**Ⅵｂ２型**」「**Ⅵ３型**」「**Ⅵｂ３型**」「**ユニバーサル型**」「**京楽型**」「**三洋型**」「**Ⅶ型**」「**Ⅶｂ型**」「**平和・アムテックス型**」以外の場合は検査を行わず、販売店もしくはメーカーにお問い合わせください。
※平和・アムテックス型は別売の「平和用検査出力ハーネス」が必要となります。
※データラインテスター非対応：エマ筐体用外部集中端子板(2021 年 1 月 29 日現在)
※オリンピア アタックビジョン筐体については、構造上部品の取り外しが必要となるため非対応です。

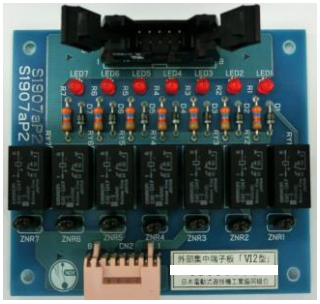
検査に標準検査出力ハーネスを使用

外部集中端子板「Ⅵ型」



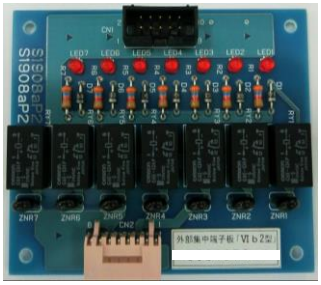
電圧設定「２４Ｖ」

外部集中端子板「Ⅵ２型」



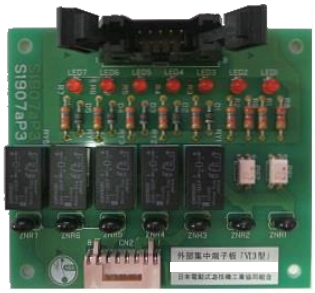
電圧設定「２４Ｖ」

外部集中端子板「Ⅵｂ２型」



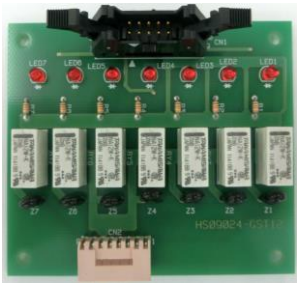
電圧設定「２４Ｖ」

外部集中端子板「Ⅵ３型」「Ⅵｂ３型」



電圧設定「２４Ｖ」

外部集中端子板「ユニバーサル型」

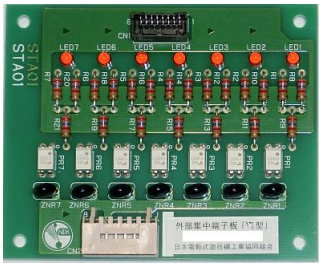


電圧設定「１２Ｖ」

※エレコ、ミズホ、アクロス製に搭載

Ⅶ型用検査出力ハーネスを使用

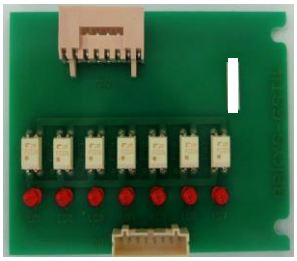
外部集中端子板「Ⅶ型」「Ⅶｂ型」



電圧設定「１２Ｖ」

京楽用検査出力ハーネスを使用

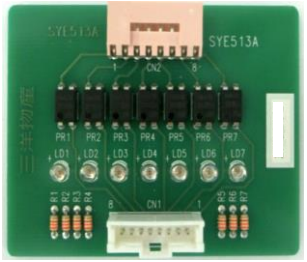
外部集中端子板「京楽型」



電圧設定「１２Ｖ」

三洋用検査出力ハーネスを使用

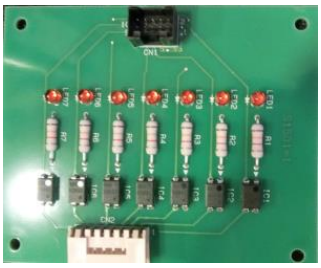
外部集中端子板「三洋型」



電圧設定「１２Ｖ」

平和用検査出力ハーネスを使用

外部集中端子板「平和・アムテックス型」



電圧設定「１２Ｖ」

③ 本体上部の「信号出力」に、外部集中端子板の型式に応じた「検査出力ハーネス」を接続します。型式が「Ⅵ型」「Ⅵ２型」「Ⅵ２ｂ型」「Ⅵ３型」「ユニバーサル型」の外部集中端子板の場合、「標準検査出力ハーネス」を使用します。「京楽型」「三洋型」「Ⅶ型」「Ⅶｂ型」「平和・アムテックス型」については専用の「検査出力ハーネス」を使用します。
※検査出力ハーネスの種類はそれぞれにマーキングチューブにて表記しております。

検査出力ハーネスを接続

④ 外部集中端子板の型式を確認し、本機の電源切替スイッチを「１２Ｖ」又は「２４Ｖ」に設定します。

「１２Ｖ」・・・型式が「ユニバーサル型」(エレコ、ミズホ、アクロス)、「京楽型」「三洋型」「Ⅶ型」「Ⅶｂ型」「平和・アムテックス型」

「２４Ｖ」・・・型式が「Ⅵ型」「Ⅵ２型」「Ⅵｂ２型」「Ⅵ３型」

(2014 年 11 月 20 日現在)

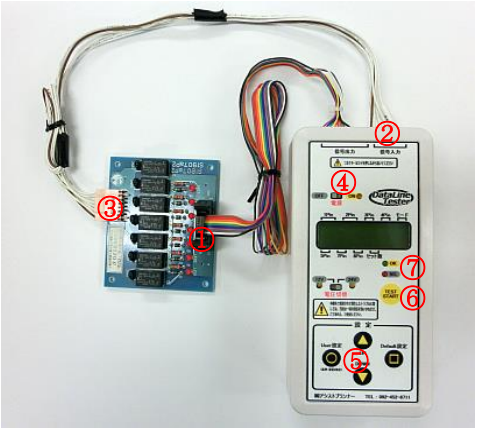
※本機には電圧保護機能が付いており、12Ｖの外部集中端子板を 24Ｖの電圧で検査しようとした場合には液晶表示部に「タンシバン　デンアツ　カクニン」の文字が表示されます。その際には、電圧切替スイッチを「１２Ｖ」に切替えてください。

注意）ホールコンピューターまでのデータラインを検査する場合には、電圧保護機能は無効となる為、必ず型式を確認し外部集中端子板の仕様に合わせた電圧に切替えて検査を開始してください。

ＬＥＤの点灯している方が、使用する電圧となります。
左図の場合、24Ｖ設定となります。

⑤ 「Ｕｓｅｒ設定ボタン」又は「Ｄｅｆａｕｌｔ設定ボタン」を押し、検査モードを選択します。
(操作手順は 9Ｐ「7. 検査モードの設定」項を参照)

６－２　外部集中端子板のみを検査する場合

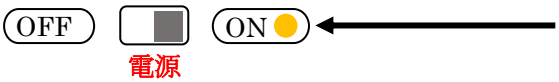


① スロット機と外部集中端子板をつないでいるフラットハーネスを外部集中端子板から抜き、そこに本機と接続している「検査出力ハーネス」を接続します。

② 本機上部の「信号入力」コネクターに検査する外部集中端子板に応じた「検査入力ハーネス」を取付けます。

③ 外部集中端子板と②で取付けをされた「検査入力ハーネス」を接続します。

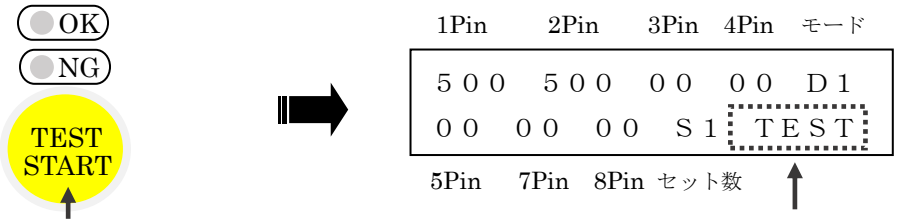
④ 本機の主電源をＯＮにします。この時、電源ＬＥＤが点灯している事を確認して下さい。点滅している場合は、電池交換を行った上で次の手順に進みます。



ＬＥＤ点灯：電源ＯＮ
ＬＥＤ点滅：電池交換が必要

⑤ 「Ｕｓｅｒ設定」又は「Ｄｅｆａｕｌｔ設定」ボタンを押し、検査モードを選択します。
（操作手順は９Ｐ「7. 検査モードの設定」項を参照）
外部集中端子板のみを検査する場合は「Ｕ１」「Ｕ２」「Ｄ１」「Ｄ２」モードのいずれかを選択します。

⑥ 本機の「ＴＥＳＴ　ＳＴＡＲＴボタン」を押します。



押すと検査が開始されます。　　検査中は「ＴＥＳＴ」の文字が表示されます。

注意）外部集中端子板の型式に応じた出力電圧にて検査を行ってください。

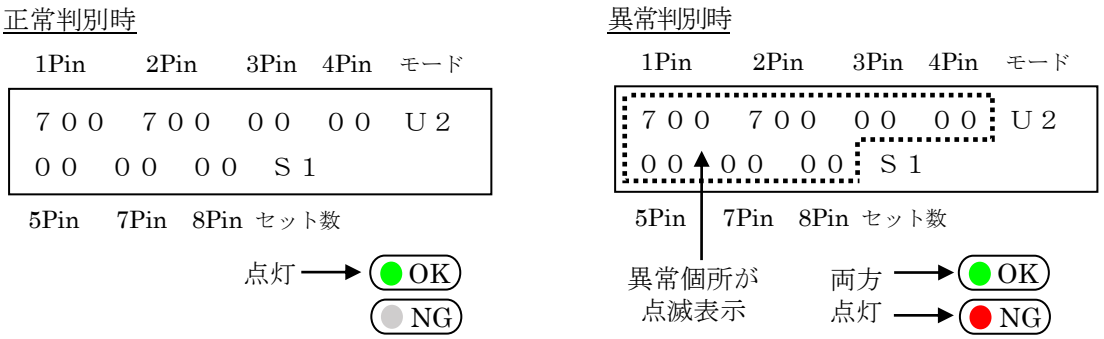
⑦ 検査終了後に結果が液晶表示部に表示され「ＯＫ」「ＮＧ」判定のＬＥＤが点灯します。

・モード「Ｕ１」「Ｄ１」「Ｄ２」の検査結果表示

外部集中端子板が正常の場合「ＯＫ」ＬＥＤが点灯します。異常判定時は検査を中断し「ＮＧ」ＬＥＤが点灯します。

・モード「Ｕ２」の検査結果表示

正常と判断した場合、「ＯＫ」ＬＥＤが点灯します。異常ありと判断した場合には「ＯＫ」「ＮＧ」ＬＥＤが両方点灯し、表示器上の数字の異常個所が点滅します。**「Ｕ２」では「ＮＧ」判定時に検査は中断しません。**



６－３　外部集中端子板からホールコンピューターまでのデータラインを検査する場合

① スロット機と外部集中端子板をつないでいるフラットハーネスを外部集中端子板から抜き、本機の「検査出力ハーネス」と接続します。

注意）ホールコンピューターまでのデータラインを検査する場合には、電圧保護機能は無効となる為、必ず型式を確認し外部集中端子板の仕様に合わせた電圧に切替えて検査を開始してください。

② 本機の主電源をＯＮにします。

③ 「Ｕｓｅｒ設定ボタン」又は「Ｄｅｆａｕｌｔ設定ボタン」を押し、「Ｕ２」又は「Ｈ１」を選択します。（操作手順は９Ｐ「**7. 検査モードの設定**」項を参照）

※外部集中端子板からホールコンピューターまでのデータラインを検査するには「Ｕ２」又は「Ｈ１」を使用します。

④ 本機の「ＴＥＳＴ ＳＴＡＲＴボタン」を押すと検査が開始されます。

⑤ 検査終了後には「ＯＫ」「ＮＧ」ＬＥＤが両方点灯します。本機の液晶画面に表示されている１Ｐｉｎ、２Ｐｉｎの回数がホールコンピューターに反映されますので、それぞれの回数をホールコンピューターのデータと比較して不良箇所の判断を行います。

７．検査モードの設定

User(ユーザー) 設定　　・・・ホール様の目的に合せた回数に変更し、検査する事が可能です。

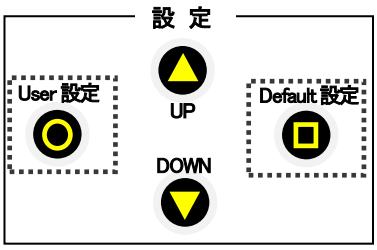
Default(デフォルト) 設定・・・本機に予め登録されている設定です。

	モード	検査対象	検査箇所	ＮＧ中断機能（※1）	検査速度	セット回数
ユーザー設定	Ｕ１	外部集中端子板のみ	1Pin~8Pin 回数変更可能	あり	変更可能	変更可能
	Ｕ２	外部集中端子板及びホールコンまでのライン	1Pin~8Pin 回数変更可能	なし	変更可能	変更可能（※2）
デフォルト設定	Ｄ１	外部集中端子板のみ	1Pin、2Pin 各 500 回 固定	あり	変更可能	１セット
	Ｄ２	外部集中端子板のみ	1Pin、2Pin 各 800 回 固定	あり	変更可能	１セット
	Ｈ１	外部集中端子板及びホールコンまでのライン	1Pin、2Pin 各 300 回 固定	なし	50msec 固定	１セット

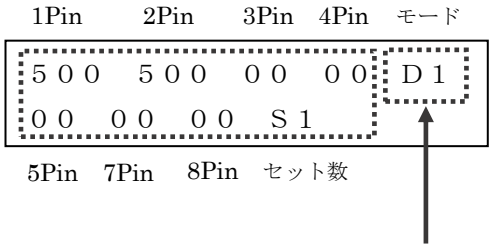
※１．ＮＧ中断機能：ＮＧ判定が確定した場合、検査を中断してＮＧ表示を行います。

※２．Ｕ２モードでは、外部集中端子板の検査の場合はセット数が反映されますが、外部集中端子板からホールコンピューターまでのデータラインを検査する場合は、1 セットのみの検査になります。

「Ｕｓｅｒ設定ボタン」又は「Ｄｅｆａｕｌｔ設定ボタン」を押して検査モードを選択します。

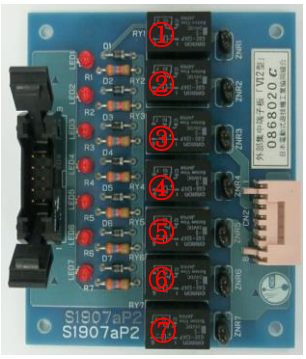


「Ｕｓｅｒ設定ボタン」、「Ｄｅｆａｕｌｔ設定ボタン」のどちらかを押して選択します。



「Ｕｓｅｒ設定ボタン」を押すと「Ｕ１」「Ｕ２」「Ｄｅｆａｕｌｔ設定ボタン」を押すと「Ｄ１」「Ｄ２」「Ｈ１」と切替わります。切替えるとそれぞれ設定されている検査回数が表示されます。

８．外部集中端子板の信号出力について

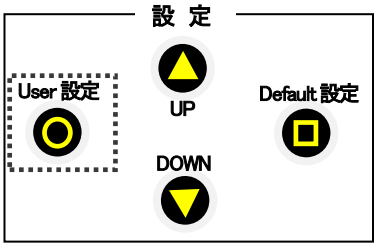


	出力信号	出力情報
①	1 Pin	メダル投入信号
②	2 Pin	メダル払出信号
③	3 Pin	主にボーナス信号
④	4 Pin	主にボーナス信号
⑤	5 Pin	主にボーナス信号
－	6 Pin	コモン
⑥	7 Pin	ボーナス信号やセキュリティ信号
⑦	8 Pin	主にセキュリティ信号

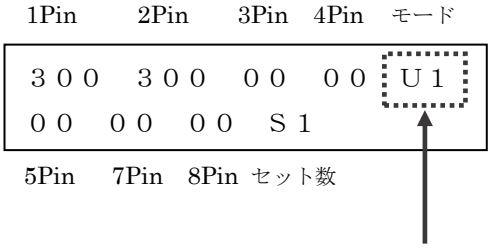
９．設定方法

９－１．ユーザーモードの設定

① 変更するユーザー設定の呼び出し

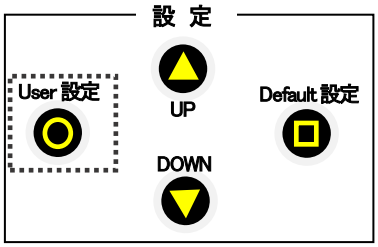


「Ｕｓｅｒ設定ボタン」を押し「Ｕ１」又は「Ｕ２」のどちらかを選択します。

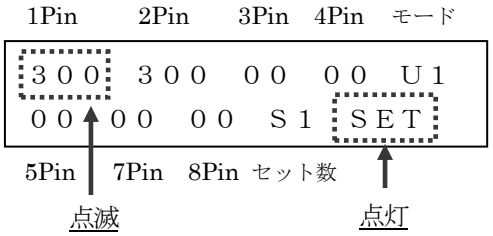


「Ｕｓｅｒ設定ボタン」を押すと「Ｕ１」又は「Ｕ２」と表示されます。

② 設定開始

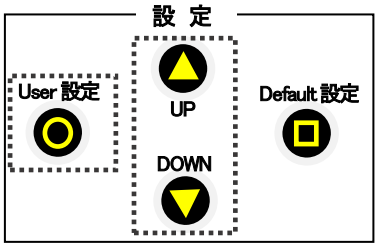


「Ｕｓｅｒ設定ボタン」を長押しすると設定変更の状態になります。

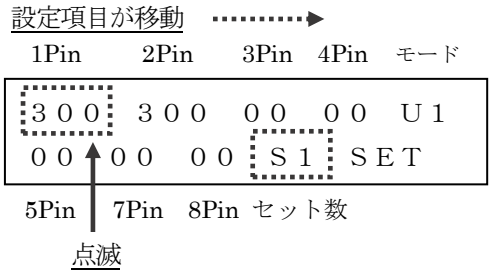


変更中の項目が点滅し、「ＳＥＴ」の文字が点灯します。

③ 設定値の増減

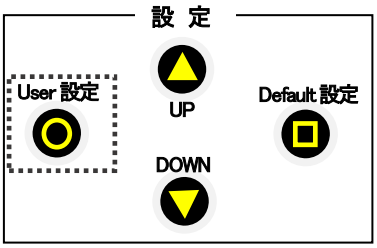


「Ｕｓｅｒ設定ボタン」を押すことで設定項目が移動します。「ＵＰボタン」「ＤＯＷＮボタン」で設定値の増減を行います。
長押しすると 10 ずつ増減します。

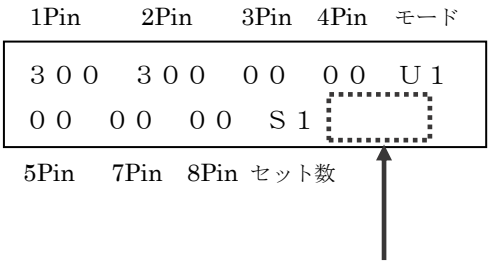


「Ｓ１」（セット回数）は、設定した検査内容を繰り返し実施します。1～9 回の設定ができます。

④ 設定完了



「Ｕｓｅｒ設定ボタン」を長押しするか、検査開始ボタンを押す事で変更内容が確定します。

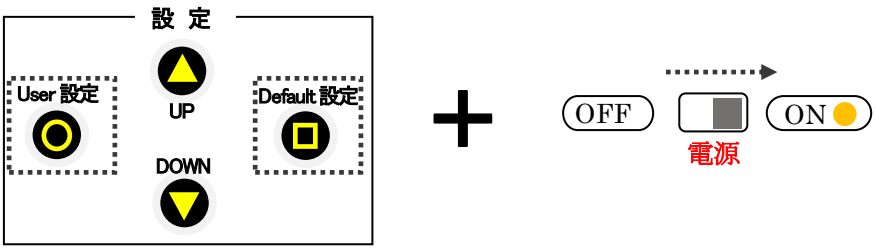


確定すると「ＳＥＴ」の文字が消えます。

※設定内容は本機内メモリに保存されますので、電源をＯＦＦにしても変更した設定内容が失われることはありません。

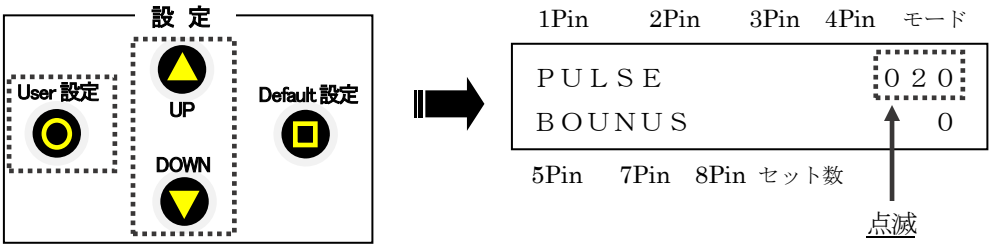
９－２．検査速度の設定

① 設定開始



「Ｕｓｅｒ設定ボタン」と「Ｄｅｆａｕｌｔ設定ボタン」を同時に押しながら「電源スイッチ」をＯＮにすると設定変更画面が表示されます。

② 検査速度の設定変更



「Ｕｓｅｒ設定ボタン」で設定項目が移動します。「ＵＰボタン」「ＤＯＷＮボタン」で設定値の増減を行います。
長押しすると 10 ずつ増減します。

設定項目を「ＰＵＬＳＥ」に合わせます。
設定値を増減させる事で1回あたりの検査速度を 10msec から 200msec まで変更できます。
10msec は検査スピードが早く、200msec では遅くなります。

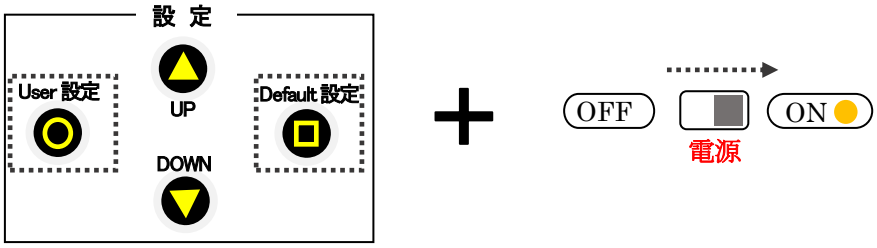
※10msec に設定した場合、１Ｐｉｎで 500 回の検査完了までかかる時間の目安は約 10 秒です。
外部集中端子板を検査する場合は 20msec、外部集中端子板からホールコンピューターまでを検査する場合は 50msec が推奨設定値です。（ホールコンピューターにより信号を受けることができる速さに違いがあり 30msec や 40msec など、早い検査速度での検査も可能な場合があります。）
※検査速度設定が適用されるのは「Ｄ１」「Ｄ２」「Ｕ１」「Ｕ２」です。「Ｈ１」の検査速度は 50msec 固定です。

③ 設定完了

「Ｕｓｅｒ設定ボタン」を長押しすると変更内容が確定します。
※設定内容は本機内メモリに保存されますので、電源をＯＦＦにしても変更した設定内容が失われることはありません。

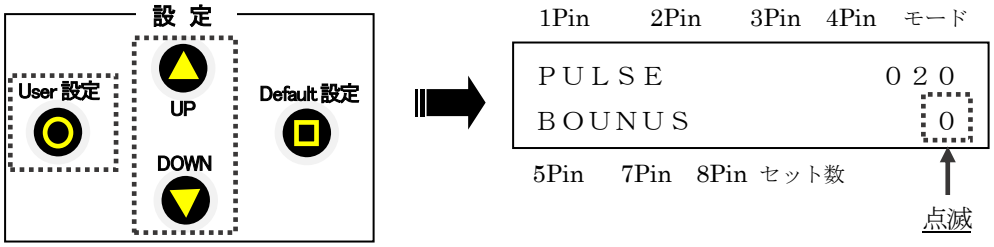
９－３．ボーナスモードの設定

① 設定開始



「Ｕｓｅｒ設定ボタン」と「Ｄｅｆａｕｌｔ設定ボタン」を同時に押しながら「電源スイッチ」をＯＮにすると設定変更画面が表示されます。

② ボーナスモードの設定変更



「Ｕｓｅｒ設定ボタン」で設定項目が移動します。「ＵＰボタン」「DOWNボタン」で設定値の増減を行います。

設定項目を「ＢＯＵＮＵＳ」に合わせます。信号を常時出力させるＰｉｎ番号を指定します。1Ｐｉｎ～8Ｐｉｎが指定できます。
※設定値０はボーナスモード無しの設定です。

※主に３Ｐｉｎ～7Ｐｉｎからボーナス信号等が出力される為、3～7 の数字から常時信号出力を行うＰｉｎ番号を選択します。1Ｐｉｎは投入、2Ｐｉｎは払出、8Ｐｉｎは主にセキュリティ信号の為通常は使用しません。

※ＢＩＧ、ＲＥＧ、ＡＴ、ＡＲＴ等のボーナス信号が出力されるＰｉｎはメーカーや機種によって異なります。不明な場合は、遊技機メーカーにお問合せください。

③ 設定完了

「Ｕｓｅｒ設定ボタン」を長押しすると変更内容が確定します。

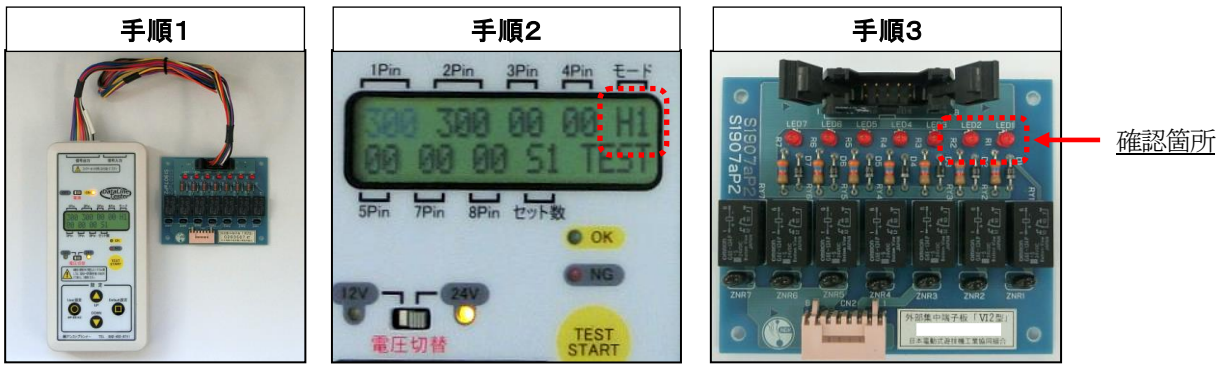
※設定内容は本機内メモリに保存されますので、電源をＯＦＦにしても変更した設定内容が失われることはありません。

１０．故障かな？と思ったら

本機での判定で「ＮＧ」判定が続く、もしくは多い場合は、ハーネスや本体の不良の可能性があります。症状に応じて確認を行ってください。

症状１．スタートボタンを押した直後に検査が止まり、「NG」のＬＥＤが点灯する。

下記手順を参考に原因を確認して下さい。なお、各ハーネスの形状は次項写真を参考にして下さい。
手順１：データラインテスターと外部集中端子板に「検査出力ハーネス」を接続します。
手順２：検査モードを「Ｈ１」もしくは「Ｕ２」で検査をスタートします。
手順３：外部集中端子板の1Ｐｉｎ、2ＰｉｎＬＥＤの光り方を確認します。



①　外部集中端子板ＬＥＤが正常に点滅する場合
・検査中に「検査出力ハーネス」の根元やコネクターを軽く揺さぶるなどをしてもＬＥＤの光り方に問題なければ、「検査入力ハーネス」不良の可能性があります。「検査入力ハーネス」交換後、外部集中端子板の通常検査を行い、動作をご確認ください。

②　外部集中端子板ＬＥＤの点滅が一定間隔ではない場合
・「検査出力ハーネス」不良の可能性があります。「検査出力ハーネス」交換後、外部集中端子板の通常検査を行い、動作をご確認ください。

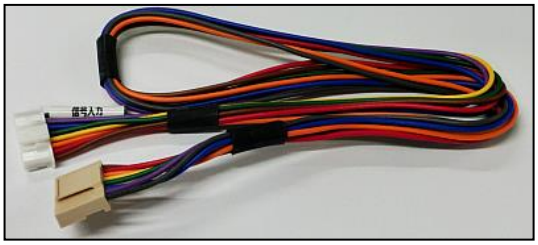
③　外部集中端子板ＬＥＤが消灯している場合
・「検査出力ハーネス」不良の可能性があります。「検査出力ハーネス」交換後、外部集中端子板の通常検査を行い、動作をご確認ください。
・「検査出力ハーネス」を交換しても外部集中端子板のＬＥＤが消灯している場合は、「データラインテスター本体」の不良が考えられ、その場合は修理が必要になります。修理に関しては有償となる場合があります。ご購入頂いた販売店にご連絡下さい。

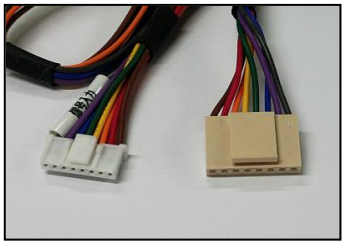
症状２．検査後「OK」のＬＥＤが点灯するが、１Ｐｉｎ、もしくは２Ｐｉｎの検査が実施されない。

ボーナスモードが１Ｐｉｎ、もしくは２Ｐｉｎに設定されている可能性があります。別紙データラインテスター仕様書の「ボーナスモードの設定」の項目を参考に確認してください。

１１－１．データラインテスターハーネス一覧

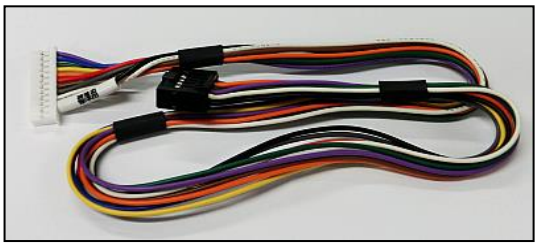
信号入力用ハーネス（信号入力のタグが付いています）

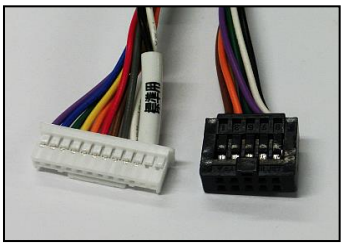




※通常の５０ｃｍ以外に、１００ｃｍのロングバージョンもご用意しております。

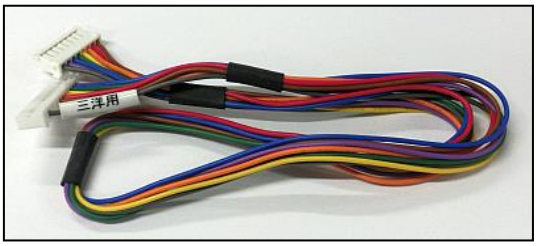
標準用出力ハーネス（標準用のタグが付いています）

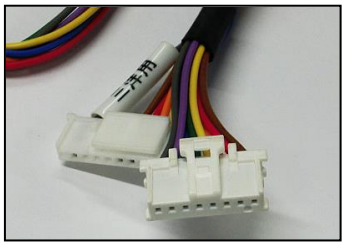




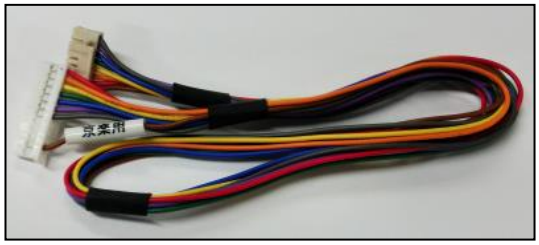
※通常の５０ｃｍ以外に、１００ｃｍのロングバージョンもご用意しております。

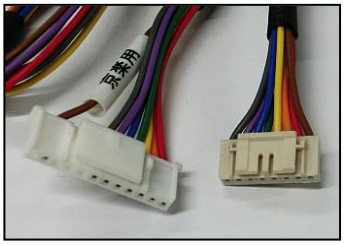
三洋用出力ハーネス（三洋用のタグが付いています）



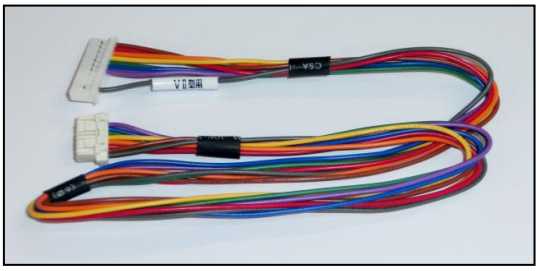


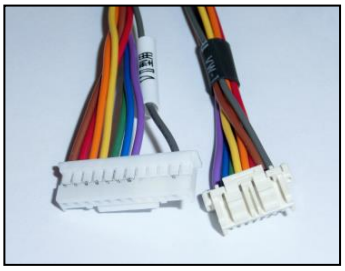
京楽用出力ハーネス（京楽用のタグが付いています）





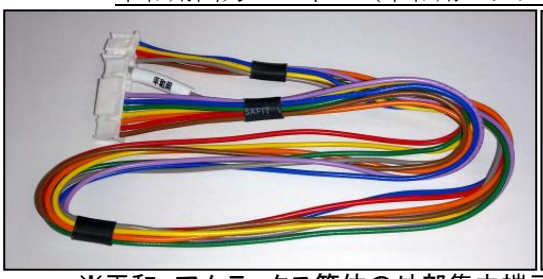
Ⅶ型用出力ハーネス（Ⅶ型用のタグが付いています）

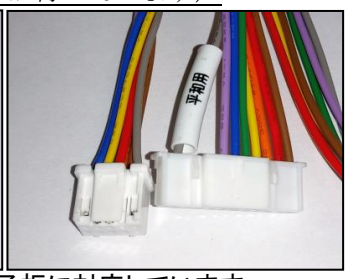




１１－２．データラインテスターハーネス一覧

平和用出力ハーネス（平和用のタグが付いています）





※平和、アムテックス筐体の外部集中端子板に対応しています。

販売店
株式会社　光球遊
〒195-0057 東京都町田市真光寺 2-34-6 ヴァリンクージュ 302
Tel 042-734-9003　Fax 042-734-9004
http://hikarikyuyu.com

製造元
株式会社アシストプランナー
福岡県福岡市博多区東比恵 3-26-4
スマイル東比恵ビル４Ｆ
tel092-452-8711 fax092-452-8722